

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 外部評価において運営推進会議の内容が事業所の報告が主になっているため、質向上のためにも幅広いテーマを設定していくことがさらなる向上につながると意見を頂いた。 | 会議の内容について年間計画をたてすすめていく | グループホームだけでなく、特養と併設している利点を考慮してアイデアを出していく。特養の年間計画に合わせた計画を立てる(防災訓練等) | 12ヶ月 |
| 2 | 1 | 自己評価においてグループホームのホーム理念が浸透していないことがわかり、職員全員で話し合い新ホーム理念と行動指針を作った。一人ひとりが理解し、行動に移せるようにしたい。 | ホーム理念と行動指針を理解し、職員誰に聞いても同じ方向性で介護にあたる | 理念と行動指針を毎日時間を決めて唱和する 尊厳について中堅職員をメインに1年かけて取り組みを行う 理念と行動指針についての振り返りを毎月カンファレンスで行う | 12ヶ月 |
| 3 | 33 | 重度化した場合や終末期の在り方については、法人全体で取り組んでいるが、看取りについての不安感が大きくまだまだ学ぶ必要がある。 | 看取り介護の更なる理解と体制作り | 法人の研修会・外部研修への参加 GH内での看取り勉強会の開催 GHでの看取り体制の検討 | 12ヶ月 |
| 4 | 26 | センター方式を中心に様式を定め、本人、家族、必要な関係者(看護師・栄養士等)と情報交換し、いつ誰が見ても情報が整理・更新され、生活に(ケアプラン)活かせるようにしていくことが必要。 | 一人ひとりの思いや暮らし、出来る力等、変化する心身状況・環境等の情報を把握する | 介護保険の認定更新時モニタリング時、(状態変化あれば随時)に必要な情報の更新を行う ケアマネジメントの流れの勉強会を行う | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。